

ネットワークアンケート ⑰

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

Q. 生活習慣病管理料のSMBG指導加算について ご存じでしたか？

今年4月の診療報酬改定で、HbA1c8.0%以上の非インスリン治療中の2型糖尿病患者さんに対し生活習慣病管理料に血糖自己測定(以下「SMBG」)指導の加算(以下「SMBG指導加算」)が新設されました*。しかし、限られた条件での算定とあって賛否両論。これを契機に、今後さらなる保険適用の拡大が望まれるところです。

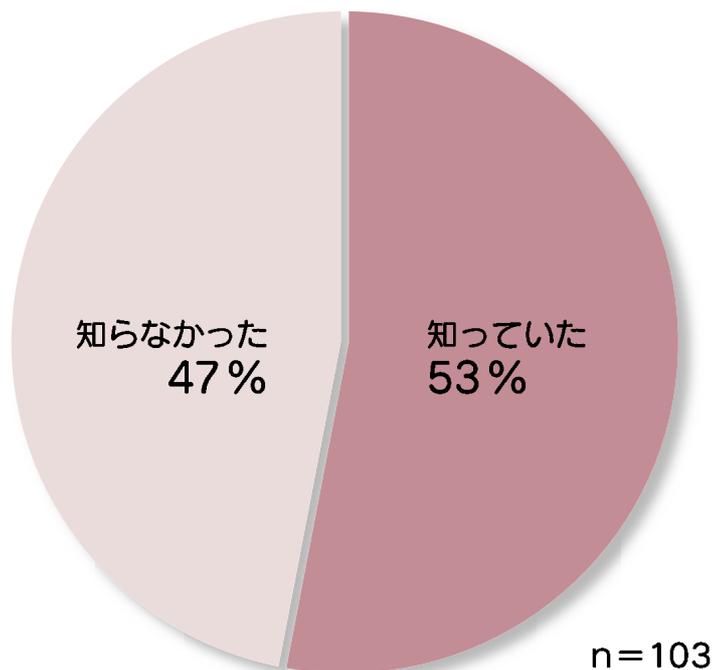
* 詳細は次項「Trend Research」にて解説

[回答数：医療スタッフ103(医師24、看護師51、管理栄養士12、薬剤師7、その他9。うち日本糖尿病療養指導士64)、患者さんやその家族38(食事療法を行っている295、運動療法を行っている251、経口薬を服用している182、インスリン療法を行っている131 / 重複回答)]

本改定について「知っていた」方は53%でした。この数字は、回答者がさまざまな職種であることと、生活習慣病管理料が病床数200床未満の病院または診療所に限って算定できるものなので、勤務する医療機関によっては“あまり関係のない話”として受け止めていた方が多いことも推測できます。実際、回答者の医療機関で「生活習慣病管理料を適用している」と答えた方は21%。そもそも、生活

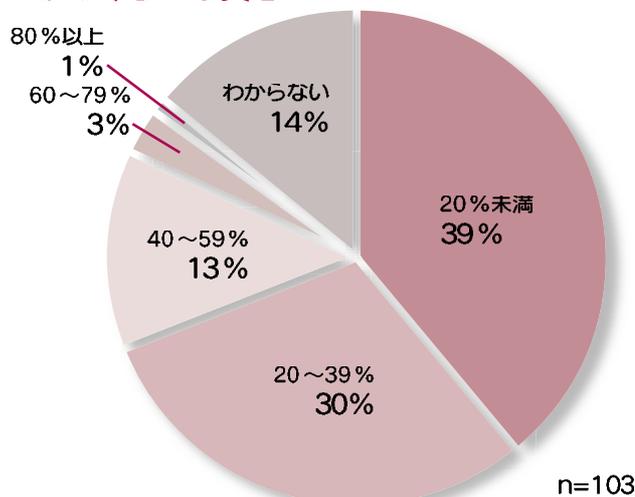
習慣病管理料について「知っている」方は57%、「聞いたことはあるが内容はよく知らない」と回答した方は37%にも及びました。

この加算が適用となる“HbA1c8.0%以上”に対しては、自由回答欄で多くの意見が寄せられました。‘8%台は当院ではインスリン導入されている。せめて7%台にしてほしかった’コントロール不可



である8%以上の適用ではすでに“遅い”のは事実かもしれませんが、‘まったくないより進歩ではないか’といった前向き意見も。下図をみると、8%以上に該当するのは患者さんの40%未満程度と実感している方が約7割。インスリン導入を促すひとつの手段としてまずは活用してみたいと考える方もいるようです。

Q. 貴院を受診する非インスリン治療中の2型糖尿病患者さんの中で「HbA1cが8.0%以上」の方は、どのくらいと実感？



Q. 貴院で自主的に自費でSMBGを行っている患者さんは？

